

令和 8 年度 入学者募集要項

山形県立天童高等学校

〒994-0021 天童市大字山元 850 番地

TEL (023) 653-6120・6121

FAX (023) 653-6126

山形県教育委員会の公告に基づき、令和8年度入学者を以下により募集する。

I 設置課程・学科・入学定員

課 程	学 科	入学定員
全日制	総合学科	120 名

前期(特色)入学者選抜募集人員は、入学定員の 30%程度 (36 名程度) とする。

II アドミッション・ポリシー

- (1) 総合学科の学習内容に関心があり、進路実現に向けて主体的に学び続ける意欲がある生徒を募集します。
- (2) 地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域に貢献しようとする志を持つ生徒を募集します。
- (3) お互いを思いやり多様性を認め、周囲と協力しようとする姿勢を持つ生徒を募集します。
- (4) 「あいさつ日本一の学校」を目指す本校生徒にふさわしい、あいさつや言葉づかい、身だしなみなど、基本的な生活習慣を身に付けた生徒を募集します。
- (5) 部活動や特別活動およびボランティア活動等に積極的に取り組む意欲がある生徒を募集します。

III 前期(特色)選抜

1 志願資格

次の各号に該当する者とする。

- (1) 令和 8 年 3 月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校(以下「中学校」という。)を卒業する見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者のうち、あとの出願要件を満たす者。
- (2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

2 出願要件

次の(1)から(3)の全ての要件に該当する者。

(1) キャリア形成に係る要件

将来の職業選択を視野に入れ、自己の進路への自覚を深めながら学び続ける意欲がある者。

(2) 成績評定に係る要件

評定合計が 27 以上の者。

(3) 特別活動等に係る要件

中学校 3 年間の校内外の活動において、部活動、特別活動、校外の文化・スポーツ活動、またはボランティア活動等に主体的に取り組み、高校入学後もこれまでの活動を生かして積極的に取り組む意欲がある者。

3 進路等相談

中学校長は、必要がある場合は、令和 7 年 12 月 26 日(金)17 時まで、本校校長に健康及び身体の状況について相談を行うことが望ましい。

4 出願

(1) 出願に必要な手続 [全ての志願者が共通して行うもの]

- ア 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200 円を納付する。
- イ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルで提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者については登録を要しない。

(2) 個別に必要な書類及び手続 [該当者のみ]

- ア 自己申告書(本校所定の用紙)
進路等相談を踏まえ、本校校長がその提出を認めたときにのみ、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
- イ 学区外高等学校志願許可書(県外から志願する者のみ)
出願前に、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書(県の指定様式)を添え、学区外高等学校志願許可願 1 部を山形県教育委員会教育長あてに提出し、許可を得ること。

(3) 志願受付期間

- 令和 8 年 1 月 5 日(月)から 1 月 8 日(木)12 時(正午)までとする。
- なお、受検票は令和 8 年 1 月 14 日(水)以降 Web 出願システムからダウンロード可能になる。

5 作文及び面接

志願者について、次により作文及び面接を実施する。

(1) 日時

令和 8 年 1 月 20 日(火) (受検者入口は 8:50 に開場する。)

時間	内容等
～ 9:20	控室集合完了
9:40～10:30	作文
10:40～13:00(予定)	面接

※個々の面接の時間帯は Web 出願システムにて連絡します。受検当日前にログインし、事前に確認してください。

(2) 場所 本校(検査室及び控室は、当日受検者入口に掲示する。)

(3) 内容

- ア 作文 字数は 500 字以上 700 字以内とし、時間は 50 分とする。
- イ 面接 個人面接で、時間は 1 人 10 分程度とする。

(4) 受検者の携帯品

- 受検票(各自 Web 出願システムよりダウンロードし印刷したもの)、筆記用具(後期(一般)選抜と同様。ただし、定規、コンパスは不要)、上履き、下足入れ、腕時計(必要に応じて。ただし、通信機能等の付いた腕時計は不可)

6 選抜

調査書情報、面接、作文の結果を総合して行う。

7 選抜規準

「A 調査書情報(学習の記録):B 調査書情報(学習の記録以外の部分): C 面接: D 作文」の配点比率

A 30 : B 30 : C 20 : D 20

8 面接及び作文の評価の観点と評価の段階

(1) 面接

ア 評価の観点

① 目的意識

本校の特徴を理解しており、目的意識をしっかりと持っている。

② 積極性

本校での学習や特別活動に積極的に努力する意志がある。

③ 態度

面接にふさわしい態度で、応対が優れている。

④ コミュニケーション能力

自分の意見を適切に表現できるコミュニケーション能力がある。

イ 評価の段階

観点別に ABCD (4 段階)

(2) 作文

ア 評価の観点

① 内容

与えられた主題を的確に読み取り、論理的に思考している。

② 構成

文章の構成が適切に組み立てられている。

③ 表記

誤字・脱字がなく、言葉を正しく使っている。また、原稿用紙を正しく使っている。

イ 評価の段階

観点別に ABCD (4 段階)

9 選抜結果の通知

令和 8 年 1 月 29 日(木)16 時に山形県公立学校 Web 出願システムにより行う。

ただし、合格者の発表は、後期(一般)選抜とあわせて、令和 8 年 3 月 17 日(火)16 時に山形県公立学校 Web 出願システムにより行う。

10 後期(一般)選抜への志願

前期(特色)選抜に漏れた者で、後期(一般)選抜を志願する者は、山形県公立学校 Web 出願システムで新たに後期(一般)選抜の志願情報の登録が必要となる。

なお、入学者選抜手数料の納付については、次のとおりとする。

(1) 県立高等学校への志願の場合

① 全日制の課程への志願にあつては、改めて納付を要しない。

② 定時制の課程への志願にあつては、改めて納付を要しない。ただし、入学者選抜手数料の差額分については還付を行わない。

(2) 市立高等学校への志願の場合

「山形市立商業高等学校授業料等徴収条例」により、改めて納付する。ただし、先に納付した分については還付を行わない。

IV 後期(一般)選抜

1 志願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和 8 年 3 月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校(以下「中学校」という。)を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で、令和 8 年度前期(特色)選抜及び中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号) 第 95 条の各号のいずれかに該当する者。

2 進路等相談

中学校長及び特別支援学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和 8 年 1 月 30 日(金)17 時まで本校校長に、健康及び身体の状態、進路希望等について相談を行うことができる。

3 出願

- (1) 出願に必要な手続 [全ての志願者が共通して行うもの]

- ア 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200 円を納付する。
- イ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルで提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者及び令和6年度以前の卒業生からの志願者については登録を要しない。なお、前期(特色)選抜の志願にかかわって本校に調査書情報、評定概況に係る書類等が登録済の場合は、登録を要しない。
- ウ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は、「聴力レベル(dB)」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書(様式は任意)を作成し、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

- (2) 個別に必要な書類及び手続 [該当者のみ]

- ア 自己申告書(本校所定の用紙)
進路等相談を踏まえ、本校校長がその提出を認めたときのみ、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。
- イ 在籍高等学校長の志願承諾書(在籍高等学校の任意様式)(高等学校に在籍のまま志願する者のみ)
出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
- ウ 学区外高等学校志願許可書(県外から志願する者のみ)
出願前に、当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書(県の指定様式)を添え、学区外高等学校志願許可願 1 部を山形県教育委員会教育長あてに提出し、許可を得ること。

- (3) 志願受付期間

令和 8 年 2 月 18 日(水)から 2 月 24 日(火)12 時(正午)までとする。

なお、受検票は令和 8 年 2 月 27 日(金)以降 Web 出願システムからダウンロード可能になる。

4 学力検査

- (1) 検査教科及び配点

国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の 5 教科、各 100 点とする。

- (2) 日時

令和 8 年 3 月 7 日(土)(受検者入口は 7:30 に開場する。)

時間	教科等	時間	教科等
～8:15	控室集合完了	12:00～12:50	昼食・休憩
8:15～8:30	諸注意及び連絡	12:50～13:40	理科
8:50～9:40	国語	14:00～14:50 (14:00から約10分間 はリスニングテスト)	外国語 (英語)
10:00～10:50	数学		
11:10～12:00	社会		

(3) 場所 本校（検査室及び控室は、当日受検者入口に掲示する。）

(4) 受検者の携帯品

ア 受検票（各自 Web 出願システムよりダウンロードし印刷したもの）

イ 筆記用具(鉛筆 [シャープペンシルを含む]、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り)

- ① 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ② 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。また、下敷、筆入れ、シャープペンシルの芯、コンパスケースは検査室に持ち込んではいけない。
- ③ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。
- ④ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
- ⑤ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

ウ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は使用してもよいが、事前に申し出ること。

エ 上履き、下足入れ、腕時計（必要に応じて）、昼食

5 選抜

(1) 選抜は、調査書情報及び学力検査等の成績に基づき、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

(2) 調査書情報中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は3:7とする。

6 合格発表

合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。

7 個人情報の提供

受検者の個人情報(学力検査の教科別得点)の提供は、山形県公立学校Web出願システムにより行う。

8 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査(以下、本検査という)の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次の①～②の連絡等を行う。

- ① 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
- ② 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

① 学力検査について

内容は上記「IV後期(一般)選抜 4 学力検査」に準ずる。

② 検査日時

令和8年3月12日(木)(時間は本検査に同じ)

③ 場所 本校(検査室及び控室は、当日受検者入口に掲示する。)

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

9 その他

(1) 入学予定者オリエンテーション

令和8年3月24日(火)13時30分から15時まで(予定)

(2) 出願に関する問い合わせ先 本校教務情報課

V 参考資料

1 教育目標

個性を伸ばし、創造力を豊かにして、共に生きる社会に貢献できる人間をめざす

進取

自律

融和

「勇気と挑戦」

「自ら考え行動する力」

「共感と協働」

2 教育課程 3年間のカリキュラム

次ページ

3 部活動(令和7年度)

(1) 文化部 美術部、演劇部、吹奏楽部、ダンス部、総合文化部(華道、茶道、報道、書道)

(総合文化部(書道)は令和7年度をもって廃止)

(2) 体育部 野球部 陸上競技部 バドミントン部 バレーボール部(女子)、弓道部、空手道部、

なぎなた部、サッカー部

4 入学後の諸経費(令和7年度)

○入学料 5,650円

○授業料 118,800円(年額)

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。

○生徒会費 年13,200円 ○PTA会費 年10,200円 ○教育後援会費 年15,600円 ○修学旅行積立 70,000円

○教科書・副読本 27,640円 ○諸経費 年43,300円 ○制服(必須購入) 男子 69,146円 女子 71,324円

○体育着(夏・冬)、運動靴(内・外) 28,250円

単位数	共通履修科目 (必履修科目◎、選択必履修科目○、学校設定科目●)			
	1年次	2年次	3年次	
	1	◎現代の国語	論理国語	論理国語
2				
3	◎言語文化	◎地理総合	◎体育	
4				
5	◎歴史総合	◎公共	◎体育	
6				
7	◎数学Ⅰ	◎体育	英語コミュニケーションⅢ	
8				
9		◎保健		
10	数学A	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	
11				
12	◎科学と人間生活	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	
13				
14	◎体育	○生物基礎 ○物理基礎	英語コミュニケーションⅢ	
15				
16	◎保健	右の「各系列の 選択履修科目」 (3年次)より 選択	英語コミュニケーションⅢ	
17	○音楽Ⅰ ○美術Ⅰ ○書道Ⅰ			
18				
19	◎英語コミュニケーションⅠ			
20				
21				
22	◎家庭基礎	右の「各系列の選 択履修科目」(2 年次)より選択	英語コミュニケーションⅢ	
23				
24	◎情報Ⅰ	◎総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ	
25				
26	◎情報Ⅰ	◎総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ	
27				
28	●産業社会と人間	◎総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ	
29		◎総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ	
30	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動	
各教科・科目及び 総合的な探究の時間の 単位数				
		29	29	29
卒業までに 修得すべき単位数				
		74		
特別活動	ホームルーム活動 (週当たり時数)	1 (毎週木曜日6校時)	1 (毎週木曜日6校時)	1 (毎週木曜日6校時)
	生徒会活動 (時間数)	34	34	34
	学校行事 (時間数)	51	55	45
授業の 1単位時間				
50分				

	各系列における選択履修科目 () の数字は単位数 ※ 必履修科目◎ 選択必履修科目○ 学校設定科目●			
	総合選択科目		自由選択科目	
	系列基礎科目 (2年次履修)	系列発展科目 (3年次履修)	(2年次履修)	(3年次履修)
文理 総合 系列	古典探究 (4)	古典探究 (2)	●課題数学ⅠAα (2)	●実用国語 (2)
	古典探究 (2)	●課題国語(現代文) (3)	●総合スポーツ (2)	●地域探究 (2)
	日本史探究 (3)	●課題国語(古典) (2)	音楽Ⅱ (2)	倫理 (3)
	世界史探究 (3)	地理探究 (3)	美術Ⅱ (2)	数学Ⅲ (3)
	●ビジュアル・ヒストリー (4)	●課題日本史 (3)	書道Ⅱ (2)	数学C (2)
	数学B (3)	●課題世界史 (3)	●韓国語Ⅰ (2)	●課題数学ⅠAβ (2)
	数学Ⅱ (4)	政治・経済 (2)	●中国語Ⅰ (2)	●課題数学Ⅱ (5)
	化学基礎 (2)	物理 (4)		●理科課題研究 (2)
	化学 (2)	生物 (4)		●生涯スポーツ (2)
	論理・表現Ⅱ (2)	化学 (3)		●生涯スポーツ (3)
	社会福祉基礎 (2)	化学基礎 (3)		音楽Ⅱ (2)
	保育基礎 (2)	論理・表現Ⅲ (2)		美術Ⅱ (2)
	ビジネス基礎 (2)	●実用英語 (3)		書道Ⅱ (2)
	観光ビジネス (2)	情報処理 (2)		音楽Ⅲ (3)
		簿記 (4)		美術Ⅲ (3)
				●書法芸術 (3)
				情報処理 (2)
	ビ ジ ネ ス 総 合 系 列	情報処理 (3)	ソフトウェア活用 (3)	
簿記 (4)		原価計算 (3)		●中国語Ⅰ (2)
ビジネス基礎 (2)		ネットワーク活用 (3)		●韓国語Ⅱ (3)
観光ビジネス (2)		財務会計Ⅰ (3)		●中国語Ⅱ (3)
	課題研究 (2)			
福 祉 保 育 総 合 系 列	保育基礎 (3)	フードデザイン (2)		
	社会福祉基礎 (3)	介護実習 (1)		
	介護実習 (1)	介護総合演習 (1)		
	介護福祉基礎 (2)	こころからだの理解 (2)		
	生活支援技術 (2)	生活支援技術 (2)		
		保育実践 (2)		
	社会福祉基礎 (2)			